

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	SUPRA		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG 0.050	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

**テストボール：SUPRA**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤 番

**比較対照ボール：RIPCORD**

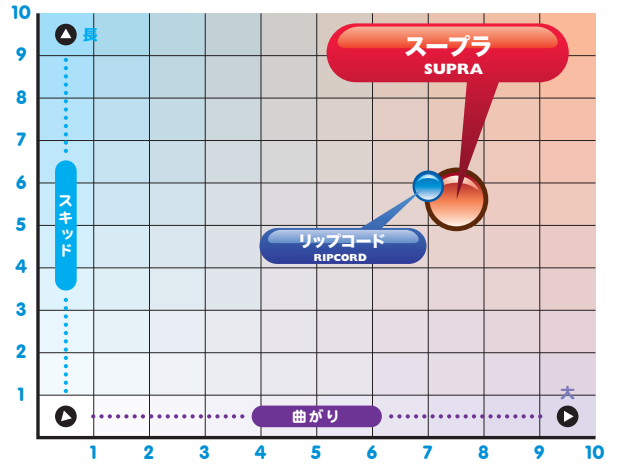
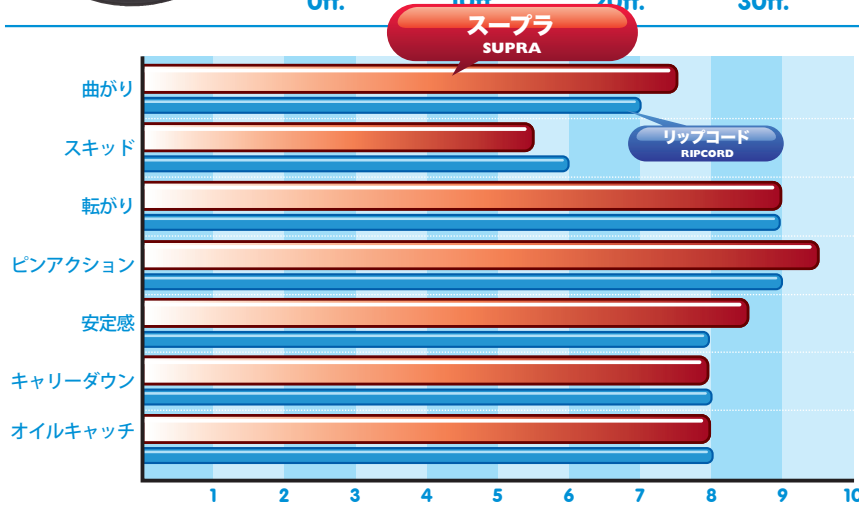
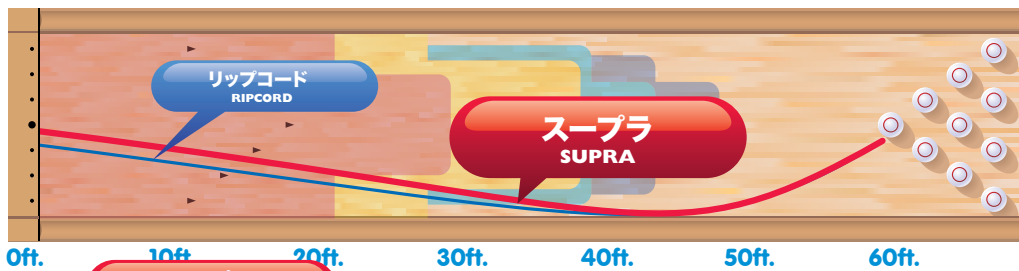
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤 番



### ボールの評価

Primal Rage再来! ImpulseコアをModifyさせ、スキッドとバックエンドを最も強調させられるInfusion Pearl Reactive。Impulseコアをカバーストックとの互換性を高めるためにModifyさせた新たなHigh Impulseコアは慣性がやや高くなり、よりバックエンドを意識したスペックになっています。Infusion Pearl ReactiveはRIP CODEでも立証された、オイルを掴みながらスキッドし、特にドライエリアの反応が俊敏になっているカバーストックで、今回ネーミングこそSUPRAとなっていますが、Rimal Rageの進化系で歴代Primal Rageよりもオイルに対する安定感と、それでいてRageを印象付けるバックエンドモーションが存分にできているところが”再来”と言えます。

Primal Rage以降、MOTIV社からその領域を担うボール、PARANOIA、VILLAIN、RIP CODEなどが発売されてきました。しかしエンドユーザーはPrimal Rageに描いた印象を上記のボールに求めませんでした。それはPrimal Rageの代わりはRageにしかなし得ないからです。Primal Rageの代名詞でもあるImpulseコア、現代のMOTIV社で最もバックエンドを意識できるInfusion Pearl Reactive。この組み合わせをもって現段階の最高のPrimal RageがSUPRAとして皆様へ使用して頂けます。テストはRIP CODEと行いましたが、2つは同じミディアムオイル対応の領域ですが、2つのリアクションイメージの違いはコアの特徴でバックエンドに違いが現れ、RIP CODEのほうがやや遅れてシャープな動きを魅せるのに対し、SUPRAはやや早めに起き上がろうとする動きが見えます。以前のカバーストックより進化したことでImpulseコアをModifyしてPrimal Rageのイメージに合わせている部分の調整は抜群で、しっかりとRageらしい独特な動きを魅せます。これがみんなが愛したPrimal Rageの良さが現代のカバーで作成されたと思って頂けるでしょう。

### 特記事項

ネーミングは**SUPRA**ですが、中身はバージョンアップされた**Primal Rage**そのものです。  
この**Primal Rage**から始まった**MOTIV**社の**黄金期**、**ミディアムオイル**の**決定版**のボールと言えるでしょう。